

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成28年8月12日
【四半期会計期間】	第19期第1四半期(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)
【会社名】	株式会社 テイクアンドギヴ・ニーズ
【英訳名】	TAKE AND GIVE . NEEDS Co. , Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 岩瀬 賢治
【本店の所在の場所】	東京都品川区東品川二丁目3番12号
【電話番号】	03-3471-6806
【事務連絡者氏名】	取締役 管理本部長 谷田 昌広
【最寄りの連絡場所】	東京都品川区東品川二丁目3番12号
【電話番号】	03-3471-6806
【事務連絡者氏名】	取締役 管理本部長 谷田 昌広
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所  (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第 1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第18期 第 1 四半期 連結累計期間	第19期 第 1 四半期 連結累計期間	第18期
会計期間	自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 6 月30日	自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 6 月30日	自 平成27年 4 月 1 日 至 平成28年 3 月31日
売上高 (百万円)	14,319	14,158	59,524
経常利益 (百万円)	302	97	1,377
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (百万円)	51	13	230
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	57	244	125
純資産額 (百万円)	20,317	19,945	20,385
総資産額 (百万円)	48,135	48,592	49,286
1 株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	3.97	1.01	17.77
潜在株式調整後 1 株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	41.8	40.7	41.0

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第 1 四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

「人の心を、人生を豊かにする」を企業理念として掲げる当社グループは、挙式披露宴会場を「一軒家貸切」とし、「一顧客一担当制」という独自の仕組みによって、一組のお客様のために最高の1日を創り上げる「オリジナルウェディング」にこだわった、クオリティ重視型のハウスウェディング事業を展開しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、2016年3月にオープンしました「BAYSIDE GEI HINKAN VERANDA minatomirai」や既存店の受注が好調であり、国内ウェディング事業のパーティー件数は前年比で増加しました。その他、既存店のリニューアルやドレス、装花、ケーキなどの内製化など既存店強化の取り組みは順調に推移しております。しかしながら、国内ウェディング事業ではパーティーあたりの平均人数の減少により単価が下落し、減収となりました。また、海外・リゾートウェディング事業は拠点数の増加や販売拠点の拡大などにより、好調に推移しております。

以上の結果、売上高141億58百万円(前年同四半期比1.1%減)、新店開設に伴う販促費や地代家賃等の費用増により営業利益1億92百万円(前年同四半期比40.7%減)、経常利益97百万円(前年同四半期比67.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益13百万円(前年同四半期比74.6%減)となりました。

なお、事業別の状況は以下のとおりであります。

#### 国内ウェディング事業

当社グループの主力事業である国内ウェディング事業におきましては、直営店での取扱組数は前年同四半期と比較して46件増となりましたが、平均人数の減少により挙式披露宴単価が下落しました。また、提携ホテルとの契約期間満了等により、コンサルティング型は取扱組数が前年同四半期比で132件減となりました。この結果、売上高118億97百万円(前年同四半期比2.5%減)、営業利益6億52百万円(前年同四半期比26.2%減)となりました。

#### 海外・リゾートウェディング事業

海外・リゾートウェディング事業におきましては、2016年1月よりハワイの新規施設が稼働したこと及びその他施設も順調に推移し、ハワイでの取扱組数が44件増加いたしました。また2015年12月に新宿サロンをオープンし、更なる販売網を拡大したことにより、その他拠点においても24件取扱組数が増加し、単価も上昇しました。この結果、売上高19億10百万円(前年同四半期比13.1%増)、営業利益29百万円(前年同四半期は6百万円の損失)となりました。

#### (2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (3) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	24,912,000
計	24,912,000

##### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成28年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成28年8月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	13,059,330	13,059,330	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株 あります。
計	13,059,330	13,059,330		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成28年6月30日		13,059,330		5,264		5,210

## ( 6 ) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第 1 四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## ( 7 ) 【議決権の状況】

当第 1 四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成28年 3 月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

## 【発行済株式】

平成28年 6 月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 103,400		
完全議決権株式(その他)	普通株式 12,763,200	127,632	
単元未満株式	普通株式 192,730		
発行済株式総数	13,059,330		
総株主の議決権		127,632	

## 【自己株式等】

平成28年 6 月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社テイクアンドグヴ・ニーズ	東京都品川区東品川二丁目 3 番12号	103,400		103,400	0.79
計		103,400		103,400	0.79

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成28年4月1日から平成28年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成28年4月1日から平成28年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## ( 1 ) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成28年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,871	3,561
売掛金	596	588
営業貸付金	1,940	1,976
商品	141	143
貯蔵品	26	26
前払費用	847	812
その他	898	1,002
貸倒引当金	85	91
流動資産合計	8,237	8,019
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	27,993	27,982
減価償却累計額及び減損損失累計額	12,106	12,341
建物及び構築物（純額）	15,886	15,641
機械装置及び運搬具	162	164
減価償却累計額及び減損損失累計額	143	145
機械装置及び運搬具（純額）	18	19
工具、器具及び備品	4,238	4,341
減価償却累計額及び減損損失累計額	3,360	3,435
工具、器具及び備品（純額）	878	906
土地	10,882	10,888
リース資産	1,050	1,055
減価償却累計額及び減損損失累計額	472	498
リース資産（純額）	578	557
建設仮勘定	995	1,075
有形固定資産合計	29,240	29,087
無形固定資産		
のれん	838	798
その他	1,143	1,072
無形固定資産合計	1,981	1,871
投資その他の資産		
投資有価証券	31	31
関係会社株式	56	35
長期貸付金	537	513
長期前払費用	430	399
敷金及び保証金	7,113	6,983
その他	1,812	1,806
貸倒引当金	154	155
投資その他の資産合計	9,826	9,613
固定資産合計	41,048	40,572
資産合計	49,286	48,592

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成28年 6 月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,627	1,821
短期借入金	570	2,070
1年内返済予定の長期借入金	4,220	4,070
1年内償還予定の社債	100	100
未払金	2,509	1,578
未払法人税等	328	211
賞与引当金	447	648
店舗閉鎖損失引当金	6	3
その他	2,837	3,165
流動負債	13,648	13,669
固定負債		
社債	100	100
長期借入金	12,125	11,851
長期リース資産減損勘定	306	286
長期リース債務	553	533
資産除去債務	1,230	1,234
その他	936	970
固定負債合計	15,252	14,976
負債合計	28,901	28,646
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,264	5,264
資本剰余金	5,210	5,210
利益剰余金	9,612	9,431
自己株式	213	213
株主資本合計	19,873	19,692
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
繰延ヘッジ損益	30	68
為替換算調整勘定	292	156
その他の包括利益累計額合計	323	87
非支配株主持分	187	165
純資産合計	20,385	19,945
負債純資産合計	49,286	48,592

## ( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第 1 四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 6 月30日)
売上高	14,319	14,158
売上原価	5,939	5,803
売上総利益	8,380	8,355
販売費及び一般管理費	8,055	8,162
営業利益	324	192
営業外収益		
受取利息	4	1
為替差益	26	-
その他	30	7
営業外収益合計	61	8
営業外費用		
支払利息	60	50
為替差損	-	42
その他	22	10
営業外費用合計	83	103
経常利益	302	97
特別損失		
固定資産除却損	-	3
店舗閉鎖損失	3	-
関係会社株式評価損	103	-
特別損失合計	106	3
税金等調整前四半期純利益	196	94
法人税等合計	144	82
四半期純利益	51	11
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失( )	0	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	51	13

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	51	11
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35	0
繰延ヘッジ損益	34	108
為替換算調整勘定	4	147
その他の包括利益合計	5	256
四半期包括利益	57	244
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	60	222
非支配株主に係る四半期包括利益	2	22

## 【注記事項】

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」

(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間から適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
減価償却費	496百万円	540百万円
のれんの償却額	39	39

(株主資本等関係)

## 1. 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

## 配当金支払額

(決 議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年5月28日 取締役会	普通株式	194百万円	15円	平成27年3月31日	平成27年6月12日	利益剰余金

## 2. 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

## 配当金支払額

(決 議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年5月27日 取締役会	普通株式	194百万円	15円	平成28年3月31日	平成28年6月15日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (百万円)(注)	合計 (百万円)
	国内ウェディング 事業 (百万円)	海外・リゾート ウェディング事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
a. 外部顧客に対する売上高	12,204	1,688	13,893	426	14,319
b. セグメント間の内部 売上高又は振替高	8	18	27	276	304
計	12,213	1,707	13,921	702	14,623
セグメント利益又は損失( )	884	6	877	31	908

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融・クレジット事業、旅行事業等を含んでおります。

報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額
報告セグメント計(百万円)	877
「その他」の区分の利益(百万円)	31
セグメント間取引消去(百万円)	0
全社費用(百万円)(注)	584
四半期連結損益計算書の営業利益(百万円)	324

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 2. 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

## 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (百万円)(注)	合計 (百万円)
	国内ウェディング 事業 (百万円)	海外・リゾート ウェディング事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
a. 外部顧客に対する売上高	11,897	1,910	13,808	350	14,158
b. セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	16	21	133	155
計	11,903	1,926	13,830	484	14,314
セグメント利益	652	29	681	35	717

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融・クレジット事業、旅行事業等を含んでおります。

報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額
報告セグメント計(百万円)	681
「その他」の区分の利益(百万円)	35
セグメント間取引消去(百万円)	1
全社費用(百万円)(注)	526
四半期連結損益計算書の営業利益(百万円)	192

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	3円97銭	1円01銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(百万円)	51	13
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(百万円)	51	13
普通株式の期中平均株式数(株)	12,956,750	12,955,735

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

## (剰余金の配当)

平成28年5月27日開催の取締役会において剰余金の配当につき次のとおり決議いたしました。

- |              |            |
|--------------|------------|
| (1) 配当金の総額   | 194百万円     |
| (2) 1株当たり配当金 | 15円00銭     |
| (3) 基準日      | 平成28年3月31日 |
| (4) 効力発生日    | 平成28年6月15日 |

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成28年 8 月12日

株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	坂	井	知	倫	印
--------------------	-------	---	---	---	---	---

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	成	田	孝	行	印
--------------------	-------	---	---	---	---	---

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社テイクアンドギヴ・ニーズの平成28年4月1日から平成29年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成28年4月1日から平成28年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成28年4月1日から平成28年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ及び連結子会社の平成28年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。